

# 『日本の底力』

平成20年9月

—— 強く明るい日本をつくる ——

衆議院議員 麻生 太郎

強くなくては日本ではなく、明るくなくては、日本ではありません。  
本来の日本、わたしたちの日本を、今こそ取り戻しましょう。

わたくしはそのために、

## ① 未来を見据えた景気対策を打ちます。

日本経済はいま、全治3年。短期集中・重点特化型の立て直しをします。当面の歪みを正して日本経済にバネをたくわえ、グローバル競争の中、駆け抜ける脚力を鍛え直します。必要なのは、未来のための改革です。それを果敢に続けます。

## ② 暮らしの不安を取り除きます。

「不安」の反対語は「安心」ではありません。「希望」です。不安の深まる今は、むしろ好機です。ぬぐわれた時、希望がそれだけ明るくなります。年金・医療・雇用・子育て——。暮らしの不安、老後の不安をなくし、日本国民が本来もつ希望を広めます。日本はそれで、また力強く動き始めます。

## ③ 逃げない政治、責任もって実行する政治をつくります。

それが、すべての前提です。わたくしはその実現に一身を賭します。情熱と、経験の総量を注ぎ込みます。国民の信を広く求め、勝ち得ることによって、内閣に強い実行力を与えます。自由民主党と、政治への信頼を強固なものとします。

日本には、底力があるのです。勤勉な国民、優秀な技術、強い企業と安全な社会、そして大きな個人金融資産。どれ一つとっても、誰にも負けない強さがあります。悲観しなればならない理由などありません。底力を解き放てばよいのです。わたくしは、それをやりたい。やるうと思えます。強く明るい日本は、わたくしの誇り。日本国民の誇りであるからです。

## 私の目指す日本

私の目指す日本は、強くて明るい日本です。  
活力があり、安心できる社会です。

### ④ 世界に開かれた国

世界の平和と発展に力を尽くす国にします。  
世界の人と企業、資金が入ってくる、魅力ある国にします。  
日本の文化は、世界を豊かにします。これを大いに広めます。

### ③ 元気な地域

それぞれの地域が活力を持ち、誇りを持って暮らせる国にします。  
「地域の元気」を応援するとともに、地方の生活を守る財源を確保します。

### ② 活力ある高齢社会

老若男女が元気に社会参加し、働きがいのある日本をつくります。  
活力ある明るい高齢社会をつくります。

### ① 安心できる社会

社会保障や安全網を強化し、安心して暮らせる社会をつくります。  
最低賃金を引き上げたり、自立を支援し、ワーキングプアや悩んでいる若者の背中を押します。

## 緊急課題

経済対策や暮らしの問題など目の前にある課題に対し、短期集中・重点特化型の政策を打ち断固として取り組みます。

### ① 強力な経済対策

日本の経済は全治3年。まずこれを治療します。  
政府与党がとりまとめた経済対策を実行します。  
定額減税を実施します。

### ② 暮らしの不安を解消します

年金や医療制度を、安心できるものに立て直します。  
希望をもって子供を産み育てることができるよう環境をつくります。  
消費者庁を創設し、国民の不安を解消します。

### ③ テロとの戦い

逃げません。逃げるという選択は日本にあり得ません。

## 政治改革

世界と社会の変化に対応し強力な政策を早く進めるため、政治と行政を改革します。

### ④ 自民党改革

内閣を党が支える機能を高めます。  
全国幹事長会議の常設化など党本部と地方組織との連携を強めます。

### ③ 国会改革

主要な政策について、与野党間協議を一層促進し、国会審議を効率化します。

### ② 地方分権

地方自治体が自ら地域経営できるよう、権限と財源を渡します。  
地方自治体の意見を尊重し、地方分権を進めます。  
その先に、道州制を目指します。

### ① 簡素で温かい政府

国民の期待に的確に応える、簡素で温かい政府を目指します。  
徹底した行政改革を行い、政府の無駄をなくします。  
国の出先機関を地方自治体に移し、二重行政をやめます。  
モラルとやる気を失った公務員を奮い立たせ、国民のために働く公務員にします。

## 基本政策

未来を明るくする政策を着実に進めます。

### ① 経済——着実な経済成長

持続的かつ安定した経済成長を目指します。  
政策減税・規制改革で、日本の潜在力を活かす成長政策をとります。  
先端技術開発を一層加速します。

### ② 社会保障——安心できる保障

財政再建路線を守りつつ、弾力的に対応します。  
歳出の徹底削減と景気回復を経て、未来を準備する税制をつくりします。  
安定的な年金財源を確保するため、国民的議論をすすめます。  
安心できる介護保険制度にします。

### ③ 教育改革——基礎教育の充実

教員が一人ひとりの子供と向き合う環境を作ります。  
教育現場の声をとりいれ、学校再生にとりくみます。  
親の負担を軽減し、学校を各家庭が選べる仕組みにします。

### ④ 地域の再生——自立を支援

守るだけの農業から、外で戦う農業に転換します。  
食料自給率を引き上げ、日本の優れた農産品を輸出します。  
建設業の新分野への転換を支援します。

### ⑤ 外交——誇りと活力ある外交、国際貢献

日米同盟を強化し、アジアの安定を求めます。  
北朝鮮による安全保障上の問題に筋の通った対応をし、拉致問題の解決を目指します。  
与えられるのではなく、国際社会の中で世界の秩序をつくる国にします。

### ⑥ 持続可能な環境——世界最先端の省エネ国家

良好な環境を守り、自然と共生できる社会を子供たちに引き継ぎます。  
成長と両立する低炭素社会を目指します。  
我が国の持つ環境・エネルギー技術を活かし、新しい需要と雇用を生み出します。